

# 「国語」・「数学」・「理科」の力と学習の様子

～『R4全国学力・学習状況調査（第3学年4月実施）』結果から～武生第六中学校

令和4年4月19日（火）に中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果と分析がまとまりましたのでお知らせします。今年度は、国語・数学の他に理科の調査も行われました。今回の結果をもとに、子どもたちの良い点はさらに伸ばし、見えた課題については、改善に努めるとともに、自ら学ぶ姿勢を高めることや日頃の生活の充実を図ることで学習状況の改善等に役立てていきたいと思っております。ご家庭とも連携することで効果を高めたいと考えますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<◎良い傾向 ▲課題が見られたところ>

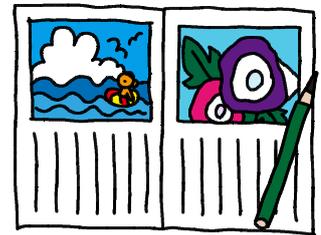
## ◆国語について

### ①★学習指導要領の6内容における結果から

◎6つの内容のうち、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の5つの内容は県平均を上回っています。また、「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均を上回っています。

### ②★特に正答率の高かった問題

◎「思考力・判断力・表現力等」の問題で、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることや聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することがよくできています。これは、授業で授業支援アプリを活用し、全員が何らかの形で意見を表すことができるように取り組んでいることも結果に結びついている要因と考えられます。



### ③★課題となる問題

▲「知識及び技能」の問題で、行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する問題に課題が見られました。改善策として、新出漢字を行書体でスクリーンに表記しながら、その特徴を考えさせる場面を設定していきます。

### 【国語の平均正答率】

全国、県、本校の比較

◆福井県

●本校

全国69.0

## 数学について

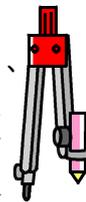
### ①★学習指導要領の4領域における結果から

◎4領域のうち「数と式」「図形」「関数」の3領域は県平均を上回り、「データの活用」領域は全国平均を上回っています。特に観点別では、「知識・技能」の観点が県平均よりも大変良い傾向にあります。

### ②★特に正答率の高かった問題

◎「数と式」の領域の問題で、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事項が成り立つ理由を説明する問題や結論が成り立つための前提を考え、新たな事項を見だし、説明することがよくできています。

これは、普段の授業で、すでに成り立つことが示された事柄を基に、前提を変えても成り立つ場合を考える場面を設けていることが結果に結びついている要因と考えられます。



### ③★課題となる問題

▲「データの活用」領域の問題で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題に課題が見られました。改善策として、自分の身近な複数集団のデータを題材にしてデータを整理し、度数分布表やヒストグラムなど、いろいろな代表値を比較して読み取る活動を設けていきます。

### 【数学の平均正答率】

全国、県、本校の比較

◆福井県

●本校

全国51.4

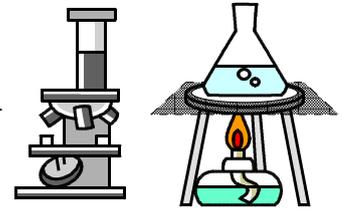
## ◆理科について

### ①★学習指導要領の4領域における結果から

◎理科の4領域（エネルギー、粒子、生物、地球）では、すべての領域で県平均を上回り、特に、「生命」を柱とする問題は正答率が高かったです。観点別では、「思考・判断・表現」の観点で県平均よりも良い傾向にあります。

### ②★特に正答率の高かった問題

◎エネルギーを柱とする領域で、考察の妥当性を高めるために、測定値の増す方法について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかを見る問題がよくできています。  
これは、普段の授業実践の中で、気づき、課題、実験計画、実験、考察の流れでワークシートを用いた授業に取り組んでいることが結果に結びついている要因であると考えられます。



### ③★課題となる問題

▲「地球を柱とする領域」で、観測した気圧と天気図の異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱として説明できるかを問うことで、気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる問題に課題が見られました。改善策として、圧力や大気圧の概念的な定着が弱いと考えられるので、空気の重さについて確かめるなど、実感的な理解が伴うように指導していきます。

### 【理科の平均正答率】 全国、県、本校の比較

◆福井県

●本校

全国49.3

# 生徒質問紙による学習や生活について

## <家庭や地域に関すること>

◎よい傾向 ▲心配な傾向

- ▲普段の1日あたりのテレビゲーム使用時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴時間が2時間以上の割合が高い。
- ◎今住んでいる地域の行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきかよく考えている生徒の割合が高い。



### 【課題に対する方策】

携帯電話やスマートフォン等で、SNS、動画視聴、ゲーム等をしている時間が、県と比べると長い傾向にあります。本校では、生活指導で2時間以上の家庭学習、7時間の睡眠など、具体的な数値で呼びかけをしています。また、定期的に生活アンケートを実施し、その結果をフィードバックしたり、小中学校で連携してノーメディアデーに取り組んだりして、メディアコントロールの呼びかけも継続して取り組んでいきます。

## <学校に関すること>

- ◎1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用した頻度や、ICT機器を活用して他の生徒と意見交換したり、調べたりしている頻度が高い。また、1日にスマートフォンやコンピュータなどのICT機器を勉強のために使用している割合も高い。
- ◎学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができると回答した割合が高い。
- ◎友達と協力するのは楽しいと答えた生徒の割合が高い。



### 【ICT活用の今後】

昨年度は、「一人一台タブレット端末の使用1年目」ということで、とにかく使って慣れることを重視しました。導入時より、文房具の一部として積極的に活用を推進しました。今年度も「授業支援アプリ」や「コミュニケーションツール」を活用し、ペア学習やグループ学習を授業の中に取り入れ、お互いに学び合える授業作りを進めています。校内でも、ICT活用推進グループを中心に、効果的な使用方法について研修を行っています。今後は、ICTの使用方法だけでなく、「他の子の考えを知る」授業内容の工夫に重きを置いた実践を行っていきます。

## <自分自身に関すること>

- ◎新聞を週に1~3回読んでいる生徒の割合が高い。
- ◎将来の夢や目標をもっている生徒の割合が高い。
- ◎困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると答えた生徒の割合が高い。
- ◎自分にはよいところがあると思う生徒の割合が高い。
- ◎1日30分以上読書をしている、読者が好きな生徒の割合が高い。
- ▲家で自分で計画を立てて勉強できている生徒の割合がやや低い。



### 【課題に対する方策】

1週間あたりの家での学習時間が少ない傾向にあります。将来の夢や目標をもっている生徒の割合は、やや高いです。将来の夢や目標を育てるために、系統的にキャリア教育を進めていきます。また、外部より講師を招いて、起業セミナーを実施し、「仕事の厳しさ」「やりがい」「生きがい」について学習するとともに、成功に結びつけるための分析や計画、実践の仕方を学び、人生をプログラミングする力を養っていきます。

## ●ご家庭でお願いしたいこと

ゲームやSNSを利用している時間が長い傾向にあります。自分で使用時間を決めるなど、ご家庭でもルールが守れるようご協力をお願いします。新聞を読んでいる生徒の割合は改善傾向にあります。2学期から福井新聞のデジタル新聞ふくe刊を導入するなどし、積極的に活用していきます。今後とも、社会で話題になっていることについて話をする機会を設け、社会的なニュースに関心がもてる環境作りにご協力下さい。

(※越前市全体の結果分析については、越前市のHPからご覧ください。)